

議案第 1 号

条例案に対する意見について

令和 2 年 6 月 25 日 提出 岩手県人事委員会 委員長 熊谷 隆司

第 1 趣旨

令和 2 年 6 月岩手県議会定例会に提出された次に掲げる条例案について、岩手県議会から地方公務員法第 5 条第 2 項の規定に基づき意見を求められたので、別紙のとおり回答しようとするものである。

第 2 意見を求められた条例案

義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例

人 委 職 第 号
令和 2 年 6 月 日

岩手県議会議長 関根 敏伸 様

岩手県人事委員会
委員長 熊谷 隆司

条例案に対する意見について（回答）

令和 2 年 6 月 22 日付け議第 62 号により意見を求められた下記条例案については、適
当なものと認められます。

記

議案第 6 号 義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例
の一部を改正する条例

条例案に対する意見について

1 検討の趣旨

令和2年6月県議会に提案された条例案について、県議会から地方公務員法第5条第2項に基づき意見を求められたことから、検討を行うものであること。

〔議会日程〕

- ・ 6月22日（月） 意見照会 （回答期限 6月30日（火））
- ・ 6月23日（火） 招集
- ・ 7月2日（木） 常任委員会
- ・ 7月6日（月） 本会議採決

2 意見を要する条例案

議案番号	条 例 名
第 6 号	義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例

3 条例案の検証結果

条例名	改正の趣旨	検証結果	検討資料
義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例	義務教育諸学校等の教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務量の適切な管理のための措置について定めようとするもの	<u>適当</u>	別紙

4 条例案意見（事務局案）

意見を求められた条例案につきましては、適当なものと認められます。

【参考】

○地方公務員法（昭和二十五年法律第二百六十一号）

（人事委員会及び公平委員会並びに職員に関する条例の制定）

第五条 地方公共団体は、法律に特別の定がある場合を除く外、この法律に定める根本基準に従い、条例で、人事委員会又は公平委員会の設置、職員に適用される基準の実施その他職員に関する事項について必要な規定を定めるものとする。但し、その条例は、この法律の精神に反するものであつてはならない。

2 第七条第一項又は第二項の規定により人事委員会を置く地方公共団体においては、前項の条例を制定し、又は改廃しようとするときは、当該地方公共団体の議会において、人事委員会の意見を聞かなければならない。

義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例

1 条例案の内容

(1) 趣旨

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（以下「給特法」という。）の改正を踏まえ、義務教育諸学校等の教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間（在校等時間（※））において行う業務量の適切な管理のための措置について定めようとするもの。

※ 在校等時間 = 正規の勤務時間 + 超過勤務命令に基づく勤務（超勤4項目（※））

+ 超過勤務命令に基づかない自主的・自発的勤務

※ 超勤4項目 = ①校外学習、②修学旅行等の学校行事、③職員会議、④非常災害対応等

(2) 国における法改正等の概要

ア 法改正

学校における働き方改革を推進するため、給特法が一部改正され、文部科学大臣が教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針を定めることとされた。

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（抜粋）（令和元年12月11日公布・令和2年4月1日施行）
（教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針の策定等）

第7条 文部科学大臣は、教育職員の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育の水準の維持向上に資するため、教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき指針を定めるものとする。

2 [略]

イ 指針の策定

(ア) 業務を行う時間の上限

法改正を受け、「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉を図るために講ずべき措置に関する指針（以下「指針」という。）」（参考2）が制定され、以下のとおり、業務を行う時間の上限が具体的に規定された。

公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉を図るために講ずべき措置に関する指針（令和2年1月17日告示・令和2年4月1日適用）

第3 業務を行う時間の上限

(2) 上限時間の原則

服務監督教育委員会は、その所管に属する学校の教育職員の在校等時間から所定の勤務時間（給特法第6条第3項各号に掲げる日（代休日が指定された日を除く。）以外の日における正規の勤務時間をいう。以下同じ。）を除いた時間を、以下に掲げる時間の上限の範囲内とするため、教育職員の業務量の適切な管理を行うこととする。

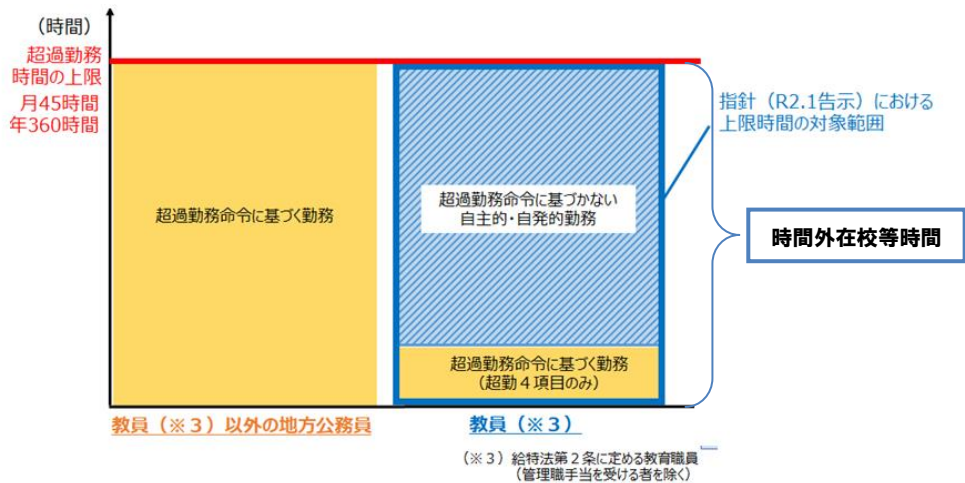
イ 1日の在校等時間から所定の勤務時間を除いた時間の1箇月の合計時間（以下「1箇月時間外在校等時間（※）」という。） 45時間

ロ 1日の在校等時間から所定の勤務時間を除いた時間の1年間の合計時間（以下「1年間時間外在校等時間」という。） 360時間

※ 時間外在校等時間 = 超過勤務命令に基づく勤務 + 超過勤務命令に基づかない自主的・自発的勤務

（超過勤務命令に基づく勤務の上限時間は規定されている（参考1）が、超過勤務命令に基づかない自主的・自発的勤務を含めた在校等時間については、上限時間が定められていない。）

【教員及び教員以外の地方公務員の超過勤務時間の上限のイメージ】



(イ) 服務監督教育委員会が講ずべき措置

服務監督教育委員会において、同指針を参考にしながら、教育職員の在校等時間の上限等に関する方針を教育委員会規則等において定めることとされた。

(ウ) 都道府県等が講ずべき措置

都道府県及び指定都市においては、給特法第7条第1項の規定の趣旨を踏まえ、服務監督教育委員会(県立学校は県教育委員会、市町村立学校は市町村教育委員会)が定める上限方針の実効性を高めるため、条例等の整備その他の必要な措置を講ずることとされた。

(3) 条例改正の内容

国における法改正及び指針策定に伴い、以下の内容により、義務教育諸学校等の教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の勤務時間において行う業務量の適切な管理のための措置について定めようとするもの。

ア 第7条(教育職員の業務量の適切な管理のための措置)の追加

教育職員の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育の水準の維持向上に資するよう、教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量を適切に管理するための措置について、国の指針に基づき、教育職員のサービスを監督する教育委員会の定めるところにより行うことを規定するもの。

イ 第1条、第2条、第3条及び第6条の改正

第7条の追加に伴い、所要の整備を行うもの。

(4) 施行期日等

ア 施行期日

令和2年8月1日

(理由) 以下の2点を踏まえて総合的に判断したもの。

- ・ 条例改正の目的である「教育職員の業務量の適切な管理」の実効性を高めるため、一定の周知期間を設ける必要があること。
- ・ 働き方改革の実現に向け、条例公布後に出来る限り速やかに対応する必要があること。

イ その他

今後、県教育委員会及び市町村教育委員会において、新規の教育委員会規則を制定し、教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量の適切な管理に取り組むこととしていること。(参考3：県教育委員会の規則案)

2 条例案意見（事務局案）

適当なものと認められる。

【理由】

この条例案は、国の法改正及び指針策定に基づき、服務監督教育委員会が定める「教育職員の在校等時間の上限等に関する方針」の実効性を高めることにより、学校における働き方改革のさらなる推進を図ろうとするものであり、適切な内容であること。

【参考１】職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則（平成６年人事委員会規則第30号）

（超過勤務を命ずる時間及び月数の上限）

第7条の3 任命権者は、職員に超過勤務（勤務時間等条例第9条の2第2項及び給与等条例第26条の6第2項の規定に基づき命ぜられて行う勤務をいう。以下同じ。）を命ずる場合には、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める時間及び月数の範囲内で必要最小限の超過勤務を命ずるものとする。

（１）次号に規定する部署以外の部署に勤務する職員 次に掲げる職員の区分に応じ、それぞれ次に定める時間及び月数（アにあっては、時間）

ア イに掲げる職員以外の職員 次の（ア）及び（イ）に定める時間

（ア） 1箇月において超過勤務を命ずる時間について 45 時間

（イ） 1年において超過勤務を命ずる時間について 360 時間

イ [略]

（２） [略]

2～4 [略]

【参考２】公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の服務を監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉を図るために講ずべき措置に関する指針（令和２年文部科学省告示第1号）〔抜粋〕

第3 業務を行う時間の上限

（１）本指針における「勤務時間」の考え方

教育職員は、（中略）、教育職員が超勤４項目以外の業務を行う時間が長時間化している実態も踏まえると、正規の勤務時間外にこうした業務を行う時間も含めて教育職員が働いている時間を適切に把握することが必要である。このため、教育職員が学校教育活動に関する業務を行っている時間として外形的に把握することができる時間を当該教育職員の「在校等時間」とし、服務監督教育委員会が管理すべき対象とする。

（２）・（３） [略]

第4 服務監督教育委員会が講ずべき措置

服務監督教育委員会は以下の措置を講ずべきものとする。

（１）本指針を参考にしながら、その所管に属する学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針（以下「上限方針」という。）を教育委員会規則等において定めること。

（２）～（７） [略]

第5 留意事項

（１）～（３） [略]

（４）都道府県等が講ずべき措置について

都道府県及び指定都市においては、給特法第7条第1項の規定の趣旨を踏まえ、服務監督教育委員会が定める上限方針の実効性を高めるため、条例等の整備その他の必要な措置を講ずるものとする。

（５）文部科学省の取組について

文部科学省は、次に掲げる事項その他の取組を進めることとする。

イ・ロ [略]

ハ 文部科学省が行う既存の調査等を活用しつつ、適宜、各都道府県及び指定都市における第5(4)の条例等の制定状況や、各服務監督教育委員会の取組の状況を把握し、公表すること。

附 則

この告示は、令和２年４月１日から適用する。

【参考3】教育委員会規則の制定について（教育委員会案）

教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則（岩手県教育委員会規則第 号）

（趣旨）

第1条 この規則は、義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例（昭和46年岩手県条例第47号。以下「条例」という。）第7条の規定に基づき、教育職員（条例第2条第2項に規定する教育職員であって、県立学校に所属するものをいう。以下同じ。）の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育の水準の維持向上に資するよう、教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量の適正な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置を定めるものとする。

（上限時間の原則）

第2条 岩手県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、教育職員が業務を行う時間（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和46年法律第77号）第7条第1項に規定する指針に定める在校等時間をいう。以下同じ。）から所定の勤務時間（同法第6条第3項各号に掲げる日（代休日が指定された日を除く。）以外の日における正規の勤務時間をいう。以下同じ。）を除いた時間を次の各号に掲げる時間の上限の範囲内とするため、教育職員の業務量の適切な管理を行う。

- （1） 1箇月について45時間
- （2） 1年について360時間

（児童生徒等に係る臨時的な特別の事情がある場合の上限時間）

第3条 教育委員会は、教育職員が児童生徒等に係る通常予見することのできない業務量の大幅な増加等に伴い、一時的又は突発的に所定の勤務時間外に業務を行わざるを得ない場合には、前条の規定にかかわらず、教育職員が業務を行う時間から所定の勤務時間を除いた時間を次の各号に掲げる時間及び月数の上限の範囲内とするため、教育職員の業務量の適切な管理を行う。

- （1） 1箇月について100時間未満
- （2） 1年について720時間
- （3） 1箇月ごとに区分した各期間に当該各期間の直前の1箇月、2箇月、3箇月、4箇月及び5箇月の期間を加えたそれぞれの期間において1箇月あたりの平均時間について80時間
- （4） 1年のうち一箇月において所定の勤務時間以外の時間において45時間を超えて業務を行う月数について6箇月

（委任）

第4条 この規則に定めるもののほか、教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るために必要な事項については、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、令和2年8月1日から施行する。

議案第 6 号

義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例

義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例（昭和46年岩手県条例第47号）の一部を次のように改正する。

改正前		改正後
(趣旨)	(趣旨)	
第 1 条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第24条第 5 項、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第42条並びに公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和46年法律第77号）第 3 条第 1 項及び第 6 条第 1 項及び第 3 項の規定により、義務教育諸学校等の教育職員（市町村立の義務教育諸学校等の教育職員のうち市町村立学校職員給与負担法（昭和23年法律第135号）第 1 条及び第 2 条に規定する者を含む。）の給与その他の勤務条件について特例を定めるものとする。	第 1 条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第24条第 5 項、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第42条並びに公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和46年法律第77号）第 3 条第 1 項及び第 3 項並びに第 6 条第 1 項及び第 3 項の規定により、義務教育諸学校等の教育職員（市町村立の義務教育諸学校等の教育職員のうち市町村立学校職員給与負担法（昭和23年法律第135号）第 1 条及び第 2 条に規定する者を含む。）の給与その他の勤務条件について特例を定めるとともに、教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量の適切な管理のための措置について定めるものとする。	
(定義)	(定義)	
第 2 条 [略]	第 2 条 [略]	
2 [略]	2 [略]	
	3 この条例において、「正規の勤務時間」とは、職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成 6 年岩手県条例第57号）第 2 条、第 3 条第 1 項及び第 2 項、第 4 条並びに第 5 条又は市町村立学校職員の給与等に関する条例（昭和28年岩手県条例第49号。以下「給与等条例」という。）第26条から第26条の 4 までに規定する勤務時間をいう。	
	(教育職員の教職調整額の支給)	(教育職員の教職調整額の支給)
第 3 条 教育職員（次に掲げる給料表の適用を受ける者に限る。第 6 条にお	第 3 条 教育職員（次に掲げる給料表の適用を受ける者に限る。第 6 条にお	

<p>いて同じ。)のうちその属する職務の級がこれらの給料表の特2級、2級又は1級である者(教頭を除く。)には、その者の給料月額100分の4に相当する額の教職調整額を支給する。</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 給与等条例別表第2教育職給料表</p> <p>2 [略]</p> <p>(教育職員の正規の勤務時間を超える勤務等)</p> <p>第6条 教育職員については、正規の勤務時間の割振りを適正に行い、原則として時間外勤務(正規の勤務時間を超える勤務をいい、休日(給与条例第33条又は給与等条例第27条の3の規定により休日給が一般の職員に対して支給される日をいう。))における正規の勤務時間中の勤務を含むものとする。次項において同じ。)は命じないものとする。</p> <p>2・3 [略]</p> <p>(教育職員の業務量の適切な管理のための措置)</p> <p>第7条 教育職員の服務を監督する教育委員会は、教育職員の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育の水準の維持向上に資するため、当該教育委員会の定めるところにより、教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量を適切に管理するための措置を講ずるものとする。</p>	<p>いて同じ。)のうちその属する職務の級がこれらの給料表の特2級、2級又は1級である者(教頭を除く。)には、その者の給料月額100分の4に相当する額の教職調整額を支給する。</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 市町村立学校職員の給与等に関する条例(昭和28年岩手県条例第49号。以下「給与等条例」という。))別表第2教育職給料表</p> <p>2 [略]</p> <p>(教育職員の正規の勤務時間を超える勤務等)</p> <p>第6条 教育職員については、正規の勤務時間(職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例(平成6年岩手県条例第57号)第2条、第3条第1項及び第2項、第4条並びに第5条又は給与等条例第26条から第26条の4までに規定する勤務時間をいう。以下この項において同じ。))の割振りを適正に行い、原則として時間外勤務(正規の勤務時間を超える勤務をいい、休日(給与条例第33条又は給与等条例第27条の3の規定により休日給が一般の職員に対して支給される日をいう。))における正規の勤務時間中の勤務を含むものとする。次項において同じ。)は命じないものとする。</p> <p>2・3 [略]</p>
<p>備考 改正部分は、下線の部分である。</p> <p>附 則</p> <p>この条例は、令和2年8月1日から施行する。</p> <p>令和2年6月23日提出</p>	

理由

義務教育諸学校等の教育職員が正規の勤務時間及びそれ以外の時間において行う業務の量の適切な管理のために定めるとともに、併せて所要の整備をしようとするものである。これが、この条例案を提出する理由である。